

お弁当・惣菜・仕出し

やましろだいかんしょあと
山代代官所跡



本郷小学校の敷地に、江戸時代から明治初期まで、山代地方を治めた代官所があった。玉木文之進も代官として赴任し、杉民治が最後の代官であった。

ほんごうれきしみんぞくしりょうかん
本郷歴史民俗資料館



資料館は、藩政時代の代官所の長屋門を復元している。紙すき用具、代官所（勘場）の遺物、山樵用具、種々の燈火用具などを展示している。

さいしょうじ
西照寺



浄土真宗の寺院。慶長17年(1612年)に開設された代官所の門扉を大正10年に現地に移す。藩政時代の勘場の姿を想像することのできる唯一の史跡である。

こんりゅうじ
建立寺



浄土宗の寺院。松下村塾生、増野徳民の墓がある。県指定有形文化財『木造薬師如来像』や、毛利家歴代国主の位牌も安置されている。



維新ゆかりの地 本郷町の概要

岩国市本郷町は山口県の北東部に位置し、北には羅漢山県立自然公園、羅漢高原があります。中央部には清流錦川の支流、本郷川が流れ、縄文・弥生時代の住居跡などの史跡、史実の歴史が今も息づいている自然豊かな山里の町です。

慶長17年には、山代宰判の勘場（代官所）が置かれ、幕末までの260年あり、山代地方の政治、経済、文化の拠点として栄えてきました。明治22年の町村制施行以来110余年、本郷村として独自の歩みを刻んできましたが、平成18年の合併により岩国市本郷町となりました。

明治維新の志士に大きな影響を与えた吉田松陰、その兄・杉民治（梅太郎）は最後の代官（第三大区長）として赴任し、山代地方の各地に水路を建設し農地開拓・整備に尽力しました。また、叔父・玉木文之進も文久3年から元治元年まで代官として本郷に赴任しています。

明治維新の本郷の偉人として、三分一健作（杉民治の下、第三大総戸長として貢献）、増野徳民（吉田松陰の愛弟子、後本郷にて医者）、山城屋和助（奇兵隊で活躍後、御用貿易商として横浜開港に功績）などは、忘れてはならない人たちです。

本郷町の基礎を築いた先人たちの歴史も人々の記憶から忘れ去られようとしている現代、私たちは、今に残る偉大な業績を巡ることにより、歴史豊かな美しいふるさと本郷を守り、後世に引継ぎたいものです。



ちょせじんじゃ
楮祖神社



中内右馬之丞は、この地に楮の栽培を広め、山代地方の和紙発展のもととなり、毛利藩の三白政策（米・塩・紙）の一翼を担った。日本唯一の楮祖神社であり、神社裏には中内右馬之丞の墓がある。

じんべんだいぼさつ
神変大菩薩



修験道の開祖といわれる役小角（えんのおづ、役行者）の菩薩。一言の願いをきいてくれる靈驗灼（あらたか）な菩薩。途中、四境の役で戦死した15名の墓がある。また、大庄屋三分一健作の墓もある。

じょうくんじ
成君寺



仁王門がある臨済宗の古刹。成君寺城跡の石垣・堀も見ることが出来る。慶長検地による高い年貢に愁訴して起こした山代一揆で処刑された、山代11庄屋の顕徳碑がある。

ほんごうはちまんぐう
本郷八幡宮



承保元年（1074年）山城国男山八幡宮（現：石清水八幡宮）を勧請。山代郷の総鎮守とされる。境内には、樹齢推定400年のイチイガシの木がある。

飛行機		岩国市本郷町
岩国錦帯橋空港	シャトルバス12分	
JR岩国駅	錦川清流線60分→河山駅下車バスで20分	
新幹線		
新幹線新岩国駅 (錦川清流線新岩国駅)	車で60分 錦川清流線45分→河山駅下車バスで20分	
車		岩国市本郷町
岩国I.C.(山陽自動車道)	車で50分	
六日市I.C.(中国自動車道)	車で50分	
岩国	車で40分 車で60分	

岩国市本郷支所 〒740-0602 山口県岩国市本郷町本郷2082番地1
TEL：0827-75-2311 FAX：0827-75-2366
作成：本郷地域ささえ愛協議会